

2017年  
10月1日現在

# 認可保育園 待機児童数 380名

2017年度当初の保育園待機児童数は過去5年間で一番多い165人(下表参照)、年度途中の10月1日現在、230人に増加しています。  
 新年度予算で待機児童解消となるのか、会派代表質問では元木議員、教育民生常任委員会は美勢議員が質しました。

## 県内ワースト3番目 待機児童数

認可保育所に申し込んで入れなかった全ての児童数をカウントする旧定義、いわゆる隠れ待機児童数を含めると、更に150人増加し、380人となるのが教育民生常任委員会にて明らかになりました。

待機児童数	
2017年10月1日	
0歳	100人
1歳	100人
2歳	23人
3歳	7人
新定義 合計	230人
↓	
旧定義	380人

県内で待機児童数が多い順に①川市、②習志野市、③浦安市となり、保育所の早期増設が急務です。

## 小規模保育事業 新年度開所未定

0歳〜2歳児を入園対象とする小規模保育事業は、民間3施設の予算が計上されています。

小規模保育事業の整備を自治体が整備しても国庫補助の対象となりません。しかし、浦安市は公募方式で事業者を募り、設置場所も未定であることが明らかになりました。事業者の進出を待つことになり、整備が遅れる可能性があります。

なぜ民間のみの計画とするのか、こ



2018年3月12日

第1449号

【発行】

日本共産党  
浦安市議団

☎ & FAX  
047-350-1243



市議会議員  
元木美奈子

入船 4-37-14  
☎ 047-355-8526  
minamotonton@  
jcom.home.ne.jp



市議会議員  
美勢麻里

北栄 2-3-16-203  
☎ 047-354-9269  
m5mise@jcom.  
home.ne.jp

保育園待機児童数	
新定義	
2013年4月1日	82人
2014年4月1日	67人
2015年4月1日	29人
2016年4月1日	79人
2017年4月1日	165人

ども部長は「開設後の運営費は国庫補助がないため民間事業とする」などと答えています。

小規模保育事業は満3歳の4月までに認可保育園・認定こども園・幼稚園などに転園することが前提となることから、また「保活」しなければならず「3歳の壁」というあらたな問題が顕在化しています。

保活への支援を求めたところ、こども部長は「3歳児クラスへ入れる連携施設を確保することを求めているため活動(保活)はないものと考えている」ことがわかりました。

## 新年度当初 新開所予定3園 定員合計163名

新年度予算には、私立認可保育園4園分が計上され、4月1日に開所予定は元町・中町・新町に合計3園。定員数は合計163人(下表参照)。新年度の待機児童解消は厳しい状況です。

2018年4月1日開所予定		
私立認可保育園		
名称	住所	定員
風花学園	堀江6	38人
こどものじかん保育園	東野3	56人
新浦安きらきら保育園	明海2	69人
(仮称)みのり第2保育園	2018年度中 開所予定	
定員合計		163人

# 入船保育園

# 大規模改修⇒建て替えに変更・定員増に!



旧入船北小学校地区  
児童育成クラブ  
敷地面積999.74㎡

↑  
入船保育園園舎

保育園の大規模改修の場合、長期の休園期間を設けることが難しいとして、入船保育園の大規模改修工事中に在園児定員170人を受け入れるための仮園舎の用地を取得する補正予算が2億9000万円、2017年6月議会に計上されていきました。

仮園舎の工事は、2018年秋頃から2019年夏頃までを予定し、入船保育園の園児と職員が借園舎に移動し、入船保育園の大規模改修を2019年度末まで行う計画で、入船保育園に隣接する旧入船地区児童育成クラブ用地、面積は999.74平米、所有者の独立法人都市再生機構に譲渡を依頼し、工事中に使用した仮園舎は民間保育園等に転用することが示されていました。

6月議会にて日本共産党は、保育園待機児童解消問題は猶予のない課題で一日も早く解消すべきであり、民間の参入を待つのではなく、公立保育園整

新年度予算では、2017年6月議会の補正予算に計上されていた入船保育園の大規模改修事業経費について、建て替えに変更し、定員増とするとされています。

備に踏み出す必要があるものと考え、入船保育園を増築し、定員増を目指すべきとして市に求めました。答弁に立ったことも部長は「公立保育園を設置する場、整備費及び運営費に対する国庫補助がないことから、保育園の新設は民間保育園の誘致等により実施していく」という考えを示していました。

## 定員170人から 250人程度に増

新年度予算では入船保育園の園舎等施設は、1980年に建築され老朽化が進んでいることから、今後も施設を安全かつ機能的に利用するために、老朽化への対応、保育環境の改善、整備が必要となっていること、また、保育園等の待機児童が多く発生していることから保育園の受け入れ定員の増加が必要になっているとして、現在170人定員を250人程度に増やし、建替等事業費4551万4000円計上されています。

	事業名	補正予算額
変更前 2017年 6月補正	入船保育園大規模改修 用地取得事業	2億9000万円
	入船保育園大規模改修 事業(実施設計)	2816万8000円
	入船保育園大規模改修 事業関連経費	886万2000円
変更後 2018年 新年度 予算	入船保育園建替等事業 (実施設計)(債務負担 行為分)	1539万2000円
	入船保育園建替等事業 (少子化対策基金事業)	3012万2000円